

第36回 ONS（アメリカがん看護学会）年次総会参加旅行のご案内

【企画・サポート】

河面育子（イェール大学看護大学院NP コース在籍、米国がん看護 CNS）

石井素子（カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護大学院がん看護 CNS コース修了、
同サンディエゴ校付属病院がんセンター看護師、カリフォルニア州認定 CNS）

【後援】株式会社緩和ケアパートナーズ 梅田恵 （代表取締役・がん看護専門看護師）

【お問い合わせ】 有限会社デンス 石井哲 Email:36ons@dense.co.jp Tel. 03-3838-5262

【協力機関】 ホロス国際看護セミナー事務局 高橋則子 Tel. 03-3838-5262



I. 背景

日本における死亡原因の一位はがんであり、がんで死亡するのは3人に1人と、がんの死亡率はアメリカなどの諸外国に比べて高いのが現状です。また、世界保健機関（WHO）の国際がん研究機関によると、がんは2010年に心臓病を抜き、世界全体で死亡原因の一位になると予想されています。今後高齢化が進み、がんの罹患率が日本だけでなく、世界レベルで増加していくことが予想され、がん看護師の果たす役割が今後さらに大きくなっていくことはいうまでもありません。

アメリカがん看護学会（Oncology Nursing Society；以下 ONS）は、1975年に発足し、いまや世界中に37,000人の会員により構成され、他職種と比べてみても世界で一番大きながん専門協会です。そのONSが開催する最大の学会「ONS年次総会（ONS Annual Congress）」には、世界中からスピーカー、聴講者が集まり、最先端のがん看護について講義・議論が行われています。

II. 企画目的

日本で医療に従事していると、現状以外の医療のあり方が見えにくくなり、改善すべき事柄、また逆に、日本の看護の良さなどが見えなくなることがよくあります。このような状況の中で、一度外に目を向けると、新たな視点を得ることができるようになることが多々あるものです。少しでも多くの方に、ONS年次総会への参加・聴講を通して、がん医療・看護への見識を深め、グローバルな視野を持って頂ければと考えています。また、世界の最先端のがん看護の情報に触れることにより、日本との違い、日本の課題、日本の良い部分などを考え、最終的に日本のがん看護がより良い方向に進む様に、という思いも込められています。

III. 第36回 ONS年次総会 開催日程・場所

日程：2011年4月28日（木）～5月1日（日）

場所：アメリカ・マサチューセッツ州ボストン

WEBサイト：<http://www.ons.org/CNECentral/Conferences/Congress>

IV. 旅行日程（参考例）

4月27日（水） 午後 成田空港（また関西国際空港）出発（各自）

4月27日（水） 午後 ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港到着（空港お迎え）
ホテルチェックイン後、自由行動

4月28日（木）～5月1日（日） 第36回ONS年次総会（会場受付後・各自希望の講義を聴講）

5月2日（月） 午前 ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港出発（空港までお見送り）

5月3日（火） 午後 成田空（また関西国際空港）港到着（各自）

※日程は出来るだけ要望に応じます

サポート内容

- 航空券・ホテルの手配案内
- 空港～ホテルの迎送
- 現地での会場案内（会場受付等）
- ONS年次総会参加申し込み手続き代行
- ONS年次総会講義内容についての簡単な日本語資料（サマリー）作成
- ONS年次総会の聴講科目についての事前個別相談
- 各日終了後の懇親会等でのワークショップ（自由参加・飲食代別途）

V. **費用** 一人あたり 総額約35万円（旅行日程・内容によって変わります：学割あり）※要問合せ

<費用に含まれるもの>

サポート費用（上記）、航空運賃（エコノミークラス）、第35回ONS年次総会参加料、
ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港～ホテル送迎、ホテル代）

<費用に含まれないもの>

通訳代、成田空港までの交通費、食事代、ワークショップ・懇親会等での飲食代、観光代、保険代、医療費、超過手荷物料金、電話代、チップ、その他上記「費用に含まれるもの」に記載されていないもの

VI. ONS 参加レポート (河面育子)

「これほど有意義な看護学会があるのか。」ONS 年次総会に初めて参加した時の私の感想です。2008年5月にペンシルベニア州フィラデルフィア市で開催された、第33回 ONS 年次総会に日本で働いていた時に参加しました。ONS 会員数は3万人を超え、毎年その中の約6000人が参加する巨大な学会です。日本の緩和医療学会の会員でもある私は、6000人規模の学会に参加するのは慣れていますが、多職種が参加する緩和医療学会とは異なり、この ONS 年次総会の参加者はほぼ全員ナースです。同じがん看護を専門とする同志が参加していることを思い、とても感慨深くなった記憶があります。

この ONS 年次総会の魅力はいくつかありますが、中でも豊富なプログラムが上げられるでしょう。朝から夕方までの同じ時間帯に、7つほどのプログラムが同時進行します。そして、プログラムも初級、中級、上級に区分されていて、選びやすいこともこの ONS 年次総会の特長です。例えば、得意な疼痛緩和は上級プログラム、苦手な放射線治療は初級プログラムというように選択することも可能です。

参加登録をすると、シラバスを見ながら、事前にインターネット上でオリジナルの日程表を作ることができます。プログラムがたくさんあるので、事前に予定を組んでおけるのは、ONS 年次総会当日に広い会場で時間を有効活用することにも役立ちます。

日中のプログラムの他に、朝と夕方に製薬会社などが主催するセミナーもあります。モーニングセミナーは開始時間が朝6時と早いのですが、日中のプログラムに負けないほど充実した内容となっています。座席数が限られていて、事前申し込みが必要なセミナーが多いので、ONS 年次総会の参加登録後、早めに申し込みされることをお勧めします。

アメリカには日本のお弁当文化がありませんので、食事時間帯のプログラムでは、宴会場にあるような丸いテーブルに8人ほどで席を取り受講します。食事のおいしさはもちろんのこと、この丸いテーブルの効果もあって、他参加者との交流を深めることができ、人脈がこうした場面で広がるのもこの ONS 年次総会の魅力です。最新の看護を学び、人脈が広がり、そしてがん看護師として前進する勇気とエネルギーをもらえる、この ONS 年次総会はその魅力に溢れています。そして、この様な魅力あふれる ONS 年次総会に参加を希望される方へ、少しでもお力になればと思っております。

VII. 昨年度 (第35回 ONS 年次総会) 参加者の声

- ・「事前にスライド訳を頂き、大変助かりました。やはり、英語が分からないと講義内容野理解は難しい。」
- ・「移動に不安がありましたが、サポートのおかげで助かりました。」

VIII. 第35回 ONS (アメリカがん看護学会) 年次総会参加報告記掲載誌

河面育子 ONS 第35回 Annual Congress 報告. がん看護. 15(6). 2010. pp.627-629

石井素子 Oncology Nursing Society に参加して感じたこと. エキスパートナース. 10月号. 2010. pp.62-63

IX. 企画・サポート者からのメッセージ

世界から集まるがん看護ナースと共に、最新のがん看護を学びましょう！また、アメリカのがん看護 CNS と NP 教育や役割、活動についても、ご希望があれば、微力ながらお伝えできればと思います。